

再生可能エネルギー導入推進等の取組状況について

1. 重点対策加速化事業（地域脱炭素移行・再エネ推進交付金）

地域の脱炭素化を意欲的に行う自治体を複数年度にわたり支援する環境省交付金「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」の採択を受け、令和 5～10 年度を事業期間として、交付金を活用し、住宅や事業所の太陽光発電設備や省エネルギー設備などの助成事業の実施や、公共施設の脱炭素化等を推進する。令和 5 年度の実施状況は次のとおり。

（1）市民・事業者向け助成金（地域脱炭素移行・再エネ推進助成金） 54,802 千円

（対象設備）

①市民 太陽光発電、ZEH、電気自動車及び充電設備の導入、
高効率給湯器、コージェネレーションシステムの更新

②事業者 太陽光発電、ZEH、電気自動車及び充電設備の導入、空調・LED の更新
（対象期間）令和 5 年 5 月 22 日（金）以降に契約し、令和 6 年 2 月 15 日（木）までに導入を完了すること

（申請期間）令和 5 年 8 月 25 日（金）～令和 6 年 1 月 31 日（水）

※詳細は別添「地域脱炭素移行・再エネ推進助成金」チラシを参照。

（交付決定件数）129 件、54,802 千円

設備	対象者	交付決定 件数	交付決定金額 (千円)	再生可能エネルギー の出力 (kW)
太陽光発電設備 (自家消費型)	市民	7	1,575	25.4
	事業者	1	750	148.5
ネット・ゼロ・エネル ギー・ハウス (ZEH)	市民	12	6,600	48.8
	事業者	0	0	-
高効率照明機器 (LED)	事業者	10	3,680	-
高効率空調機器	事業者	64	36,797	-
高効率給湯器 (エコキュート)	市民	16	1,600	-
コージェネレーション (エネファーム)	市民	19	3,800	13.3
電気自動車 及び充電設備	市民	0	0	-
	事業者	0	0	-
計		129	54,802	236.0

(2) 公共施設の脱炭素化

34,936 千円

市有施設の高効率空調機器（5 施設）及び高効率照明機器（LED）（1 施設）への更新、公用 EV 及び充電設備（いずれも 1 台）導入。令和 10 年度までに、太陽光発電設備の導入も検討する。

- ・高効率空調機器（5 施設）
- ・高効率照明機器（LED）（1 施設）
- ・公用 EV 及び充電設備（各 1 台）

11 月 30 日に日産サクラを導入。1 月 10 日より全庁利用を開始（別添市公用 EV 紹介ホームページ参照）。

(3) 助成金交付事務執行委託

13,499 千円

助成金の申請受付や事業周知や相談等の事務局を宝塚商工会議所に委託。市では交付決定や支払い事務に必要な会計年度任用職員を雇用し、助成金事務を行った。

対象となる事業者へ助成金説明会を行うほか、進捗状況に応じて、適宜、商工会議所の媒体を活用して会員及びその他事業者へ PR を行い、市 HP、SNS の媒体の活用等による市民や事業者への周知を図った。

2. 太陽光発電及び蓄電池設備の共同購入支援事業

自治体が事務局を担う事業者（アイチューザー株式会社）と協定を結び、太陽光発電と蓄電池設備の購入希望者を広く市民から募り、一括して発注することでスケールメリットを生かし、一定品質の機器を安全安心に購入するという内容の事業であり、令和 4 年度より阪神 7 市 1 町及び神戸市との連携により開始した。

令和 5 年度は、令和 4 年度に共同実施した阪神 7 市 1 町・神戸市に明石市が加わり募集開始。

本市の参加登録実績は次のとおり。（別添「太陽光発電及び蓄電池設備の共同購入支援事業」チラシ参照）

年度	参加登録数 (内、契約数)	内訳 (内、契約数)			導入量	
		太陽光パネル	太陽光パネル ＋蓄電池	蓄電池	太陽光 パネル (kW)	蓄電池 (kWh)
令和 5 年度	199 (15)	38 (4)	86 (4)	75 (7)	49.1	79.9
令和 4 年度	397 (30)	64 (3)	176 (9)	157 (18)	48.8	196.8

3. 木質バイオマス有効利用事業

兵庫県が北摂里山地域循環共生圏構築の一環として進める本市北部地域の木質バイオマス有効利用事業では、令和 4 年 8 月より玉瀬地区口添谷の県有地において、（一社）徳島地域エネ

ルギー（以下、「同法人」という。）を事業主体として、県有林の伐採、同地土場での伐採木のチップ化及び神戸市北区ラボにチップを搬送しての乾燥試験（極東開発との共同実証）を通して事業モデルを構築しているところであり、市では説明会の開催等、同事業の住民理解を得るために、県と協力体制をとっている。

上記の木質バイオマス有効利用事業は、NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）から採択された次の 2 つの事業の支援を受け、進められている。（詳細は別添「兵庫県の「北摂里山地域循環共生圏」の取組について」を参照。）

①木質バイオマス燃料生産の実証事業（令和 3～5 年度）

（目的）チップ等燃料製造・輸送に関し製造工程の改善等による安定供給体制の確立・燃料の品質向上に向けた実証事業。

（実施状況）伐採県有林及び剪定枝のチップ化・乾燥を行っており、県有林からは良質な木質チップを安定的に生産している。

剪定枝については、同法人が市南部地域の造園組合から一定量、有価での買い取り及びチップ化を行っており、チップの品質を分析予定。なお、剪定枝の集積とチップ化を行っている土場については、県有林伐採の土場に隣接する県有地となるが、①NEDO 事業の終期に合わせ R5 年度限りの使用許可となっている。

今後、事業の成果報告を地域に向けて行う。

②森林再生による燃料ポテンシャル開拓事業（令和 5～10 年度）

（目的）広葉樹等の活用拡大に向け、地域に適した植林・育林・伐採・搬出方法を実証。伐採により燃料を生産しつつ、伐採区の森林再生を行う。

（実施状況）令和 5 年度はドローンを用いた材積量の把握等により、玉瀬地区県有地内で事業地の優先順位付けを行うための伐採計画を策定中であり、同計画に基づき、令和 6 年度以降に伐採・植林が開始される予定。

4. 市民向け啓発イベント

令和 5 年度に実施済み及び予定の市民向け啓発イベントは次のとおり。（※詳細は別添各チラシ参照。）

- ・親子で挑戦！エコ・クッキング・・令和 5 年 8 月 18 日
- ・OSORA マルシェ（太陽光で走らせよう！ソーラートレイン）・・令和 5 年 10 月 28 日
- ・たからんまつり（楽しいソーブねんど、太陽光で走らせよう！ソーラートレイン、公用 EV 展示）・・令和 6 年 3 月 30 日